

小学生の見守りとサポートの 「放課後カフェ（放課後りんぐ）」立ち上げ



特定非営利活動法人ワークライフ・コラボ



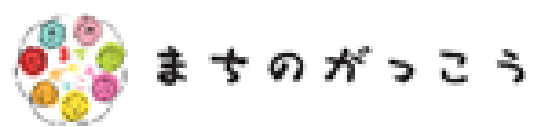
発表者

篠原 唯花 （松山大学経営学部4回生） 令和6年度リーダー

志田 蒼衣 （松山大学人文学部 3 回生） 令和7年度リーダー

堀田 真奈 （特定非営利活動法人ワークライフ・コラボ）





子どもの「そだち」をはぐくみ、親の「ハタラク」をささえる

休日子ども
カレッジ

小学生の長期休暇預かりプロジェクト。
愛媛県子どもの愛顔応援基金補助金と松山市補助金を活用して、
1日40～60人の子どもたちと大学内で過ごす官民学の児童クラブ。
年間のべ3000人のこどもたちと、
ボランティア登録している大学生約120名、 支援スタッフ25名。



日本のこどもは 先進国の中で最も 孤独感が強い

『孤独を感じることはあるか』と15歳のこどもに質問したところ、『はい』と答えた割合は29.8%と日本の子が最多。2位のアイスランドの10.3%の約3倍と突出
(2007年ユニセフレポート)

紐づくデータ

- ・テレビやタブレット・スマホを見る時間が長い.....48%
- ・同世代のこどもと触れ合う機会が少ない69%
- ・同居家族以外の大人と触れ合う機会が少ない ...79%

国立成育医療研究センター調査データより

孤独が子どもの成長に与える影響

- ①食欲がなくなる（または偏食になる）
- ②不眠
- ③きびきびと行動できなくなる（好奇心がなくなる）
- ④学習への意欲がなくなる



人口減少、少子化、環境変化による
「仲間」「時間」「空間」の消失、また
子どものコミュニケーション能力・体力の低下、
シチズンシップの低下という危機的状況

だからこそ、
「居場所」と
「人」が必要！

なぜ私たちがこれをするのか？

**「地域の子どもたちの何かの役に立ちたい」
「地域の居場所はどう作ったらいいのでしょうか？」**

まちのがっこう事業（休日子どもカレッジ）の関係者や大学生からの問い合わせ



（御礼）昨年度のこの助成金にて、**「居場所の必要性」**についての勉強会や**実際の居場所へのインタビュー、学生の地域活動の伴走をおこないました**



松山大学4-ringsメンバーより「小学生の居場所づくりをしたい」と相談受ける



**まちのがっこうの必要性を感じ、作ってきた私たちが
場所をつくりたいと思っている人の伴走をし、地域課題の解決の輪を広げる**

取り組んだことは

①「放課後カフェ」の立ち上げと実施（一緒にやってみる）

②こどもの関わりについての勉強会の実施

こどものトラブル等への関わり方や、今のこどもたちの育ちの状況
など、知識習得の機会を得る

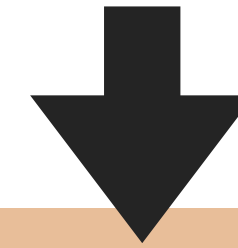
放課後カフェの運営として参加できる大学生の募集や交流会実施





4-Ringsの主な活動

- 清掃課 城山公園清掃
- 県警課 自転車施錠調査
- 地域課 こども食堂など福祉活動



- 「放課後りんぐ」を4-Ringsの看板活動にしたい！
- 小学生の居場所づくりをしたい！

- 松山大学、愛媛大学、松山東雲女子大学、聖カタリナ大学の学生で構成されているボランティアサークル。
- 約190人で活動しています！



「放課後りんぐ」 立ち上げの背景

地域との関係が希薄

自由に遊べる環境が少ない

高学年は児童クラブに入れないことが多い



期待される効果



学生とこどもの交流する場



松山の地域活性化



学生自身の成長とこどもの孤立防止

2024年度の主な取り組み内容

放課後りんぐの地盤づくり

6月 メンバー募集

7月 小学校訪問

8、9月 休日子どもカレッジ参加

9月 小学生との関わり方を学ぶ勉強会を開催

11月 松山大学学祭参加 (4-Rings として)

通年 ミーティングの実施



「放課後りんぐ」開催

清水公民館にて、3回実施

10月 ハロウィン借り物競争

12月 クリスマスツリーをつくろう

2月 鬼のお面をつくろう

参加無料



7時間目

Let's Ring's DM
4-RingsのDM



この活動は放課後りんぐのメンバーと一緒に、メインイベントで進んだり、宿題を教えてもらったり、ゲームで遊んだり、小学生と大学生が自由に交流する時間です。季節にちなんだイベントで楽しもう！参加してくれたみんなにお菓子のプレゼントもあります！

4-Ringsとは



岡山大学、愛媛大学の学生が2006年で構成されるボランティアサークルです。

放課後りんぐとは

4-Ringsのメンバーが、地元の小学生が安心して過ごせる環境づくりを目指して、3年連続で実施中の放課後りんぐの活動がはじまりました。放課後も一緒に子どもたちと関わるイベントを今後も定期的に実施します。

ハロウィン仮装借り物競争

10/9

※ 14:30 ~ 17:00

会場 清水公民館 大会議室

対象 小学生（4～6年生）

※ 岡山大学参加の生徒、1～3年生の学生はOK



クリスマスツリーを作ろう

12/11

※ 13:15 ~ 15:45

会場 清水公民館 大会議室

対象 小学生（4～6年生）

※ 岡山大学参加の生徒、1～3年生の学生はOK



※参加方法

- ▶参加費無料 ・入場自由
- ▶**全員保護者の同意が必要**です。申込用紙に必要な事項を記入して当日持参してください。
- ▶注意書き ①利用は1回限りです。
- ▶参加費が徴せられる場合があります。保護者の方の電話番号を覚えてください
- ▶大学生と一緒に参加も可です。希望者は名前を持ってきてね。
- ▶注意書き ②保護者のみなさんへ
- ▶清水公民館の事前のみに参加しています。お返しの場合は必ずお伝えください。
- ▶イベント中の服装、イベント中の食事は、その日の活動について私たちに一任の責任を負います。
- ▶お返しはイベント終了時間約5分後までにお願いします。
- ▶お返しした個人情報は個人での利用のみを行います。
- ▶なお、個人情報をご本人の希望なくに第三者に開示することはありません。
- ▶管理側については岡山大学の校務室に依ります。

運営サポート/NPO法人フークライフ・クラブ 協力/清水公民館

この取り組みは三浦英樹先生助成金を活用し、運営しています。

<当日の緊急連絡先>
清水公民館 089-924-7075

【申込用紙】 ※保護者の同意が必要です。申込用紙に必要な事項を記入して当日持参してください	
児童氏名	保護者電話番号
保護者サイン	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>滞り方の選択</p> <p style="font-size: 0.8em;">※滞り方の記入は必須です</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>1.保護者のお返し 2.自分でお返し</p> </div> </div>

輪っく輪っくの 7 時間目

12月11日（水） 13:15-15:45

**参加費
無料！**

- ・ クリスマスツリー作りコーナー
(先着10人)
- ・ カードゲーム対決コーナー
- ・ 大学生と一緒に宿題をしよう！

好きなコーナーを選んで楽しんでね！

場所：清水公民館 大対象会議室
対象：小学生（4-6年生）



放課後りんぐとは

4-Ringsのメンバーが、地域の小学生が安心して遊べる場所づくりを目標として、三浦警察署や清水水資源の協力のもと立ち上げました。皆様と一緒にしたり、遊んだりするイベントを今後も定期的に実施します。

4Ringsとは

松山大学、愛媛大学の学生約200名で構成されるボランティアサークルです。

♪参加方法

- ・ 参加費無料 入場自由
- ・ 会員登録の同意が必要ですが、申込用紙に必要事項を記入して当日持参してください。
- ・ 当日参加 [お申し込み不要]
 - ・ 緊急時連絡先がわかるよう必ず保護者の方の電話番号を覚えてきてね！
 - ・ 大学生と一緒に遊びもできます。希望者は教材を持参してください。
 - ・ 当日参加 [お申し込み不要]
- ・ 清水公民館の駐車場の合図が切れているときは、お道の脇にお車を停付けてください。
- ・ イベントの当日、イベント中のほか、その他の行事に参加していただく一助の機会もあります。
- ・ お申し込みは、終了時間前のお昼までにお申し込みください。
- ・ 収入はすべて個人情報（当イベントの運営などに利用）したります。
- ・ なお、個人情報はご本人の同意なく第三者に開示することはありません。
- ・ 参加費は小学生のみの参加費に設定しています。

【お問い合わせ先】
4-Rings事務局
清水市清水1-1-1
清水公民館 2F
TEL:099-924-7075



4-RINGS OFFICIAL WEBSITE



4-Rings

運営サポート/NOBIS人・ワークライフ・コサポ 協力/清水水公民館

＜当日の緊急連絡先＞
清水公民館 089-924-7075

【申込ひも】 ※保護者の同意が必要ですが、申込用紙に必要事項を記入して当日持参してください

児童氏名	保護者電話番号	保護者のお迎え	2.自分で帰る
保護者サイン	帰りの方を選択		

輪っく輪っくの 7時間目

2月5日 (水) 15:30 ~ 17:00

参加費
無料!









● お面作りコーナー (先着10人)

● カードゲーム対決コーナー

● 大学生と一緒に宿題をしよう!

好きなコーナーを選んで楽しんでください!

場所: 清水公民館・大会議室
対象: 小学生 (4-6年生)
兄弟で参加の場合: 2年生の参加者も来てもらえます!

お楽しみ会とは

4-Ringsのメンバーが、地域の小学生が安心して遊べる場所づくりを目指して、三浦地区各中学校・小売店の協力のもと立ち上げました。皆様と一緒にしたり、盛りだるなイベントを今後も定期的に実施します。

4Ringsとは

横浜大学、愛媛大学の学生約200名で構成される若手ボランティアサークルです。

4-Ringsのメンバーが、地域の小学生が安心して遊べる場所づくりを目指して、三浦地区各中学校・小売店の協力のもと立ち上げました。皆様と一緒にしたり、盛りだるなイベントを今後も定期的に実施します。

▶ 参加方法

- ・参加費無料! → 入場自由
- ・保護者の同意が必要で、申込用紙に必要事項を記入して当日もってきてください。

▶ 注意事項【小学生のみなさんへ】

- ・大学生といっしょに遊ぼうという人は数人をもってきてね!
- ・大学生といっしょに遊ぼうという人は数人をもってきてね!
- ・安心・安全のイベント開催のためにお願いしています。お楽しみの際はお気を付けてください。
- ・イベントへの参加、イベント中のケガ、その他の事故について私たちは一切の責任を負いません。
- ・お楽しみはイベント終了30分前までにお願いいたします。
- ・お楽しみした後は、帰路は必ずイベントの会場から帰るいただきます。
- ・なお、個人情報は本人の同意なしに第三者に開示することはありません。
- ・冒険等については小学校の休校日にも対応します。

※参加サポート: INPO法人ワークライフ・コラボ 協力/清水公民館

※この取り組は日本児童福祉事業協会が活用し、承認しています。

【お問い合わせ先】

4-RingsのInstagramに
お問い合わせください。
詳細な活動の様子も
公開しています。



Instagram: 4-RINGS



< 当日の緊急連絡先 >
清水公民館 089-924-7075

【申込み欄】 ※保護者の同意が必要で、申込用紙に必要事項を記入して当日持参してください

児童氏名	保護者電話番号	保護者のお迎え	2. 自分だけで
保護者サイン	帰りの選択	1. 保護者のお迎え	2. 自分だけで

やってみてよかったこと・感じたこと

地域との関わり

小学生や公民館や先生など
大学生の普段の生活では
関わるのが少ない地域の方との
交流が増えた。

居場所づくりに貢献

実際にリピートで参加してくれる子
や、次の開催を楽しみにしてくれて
いる子がたくさんいた。
宿題をしたり、小学生同士でゲーム
をしたり、自由にリラックスして楽
しめる居場所ができたと感じた。

2025年度メンバー構成

・ 1年生 10人

・ 2年生 2人

・ 3年生 5人

計17人

[役割]

- ・ 全体リーダー：全体の指揮。状況を見てそれぞれの役割の人に指示を出す。
- ・ 渉外：小学校・公民館との連絡
- ・ 広報：チラシ作成
- ・ 会計：部費の管理
- ・ 子供企画：企画を考える

今年度行っていること

ただ場を用意して遊ぶだけじゃつまらない
めったにできないことをさせてあげたい

... → こどもたちが「実際に体験できるようなイベント」を方針に
季節ごとのイベントを用意

6月

紫陽花作り

8月

夏祭りの屋台体験

10月

お化けづくり

6月

画用紙と折り紙を使ってオリジナルの
紫陽花作り🌸

百均で綿やモールなどたくさんの材
料を買って自由にデコってもらった



個性あふれる、様々な紫陽花が完成

中にはコントラストとして黄色い
アジサイを作った子も！



8月

屋台を用意して夏祭り体験

- ボウリング
- 射的
- お菓子釣りゲーム
- 輪投げ

手作りの屋台を楽しんでくれて、
作った甲斐があった

UNOなど、カードゲームで大学生と対決も

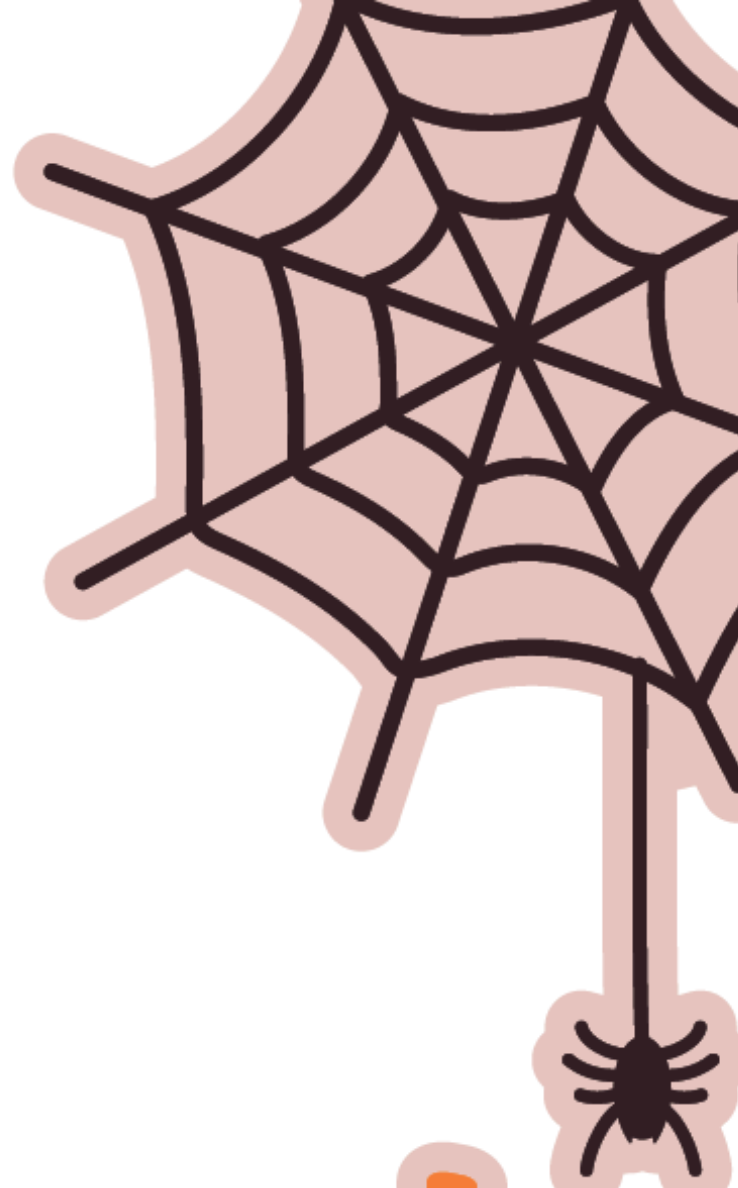


10月

ハロウィン

折り紙と風船でお化け作り👻

モールやデコレーションボールを使って、
自分だけのお化けが完成！
みんなで仮装をしてハロウィンパーティー



やってみてよかったこと・感じたこと

新しい学び

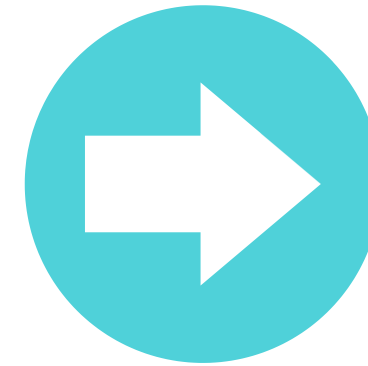
私たちにはない新しい価値観を持っている小学生と関わることで、大学生の私たちも新しい気づきがある

対応力

公民館の方や校長先生とやり取りをするなかで、大人として対応するスキルが身についた。電話対応の苦手意識がなくなった。

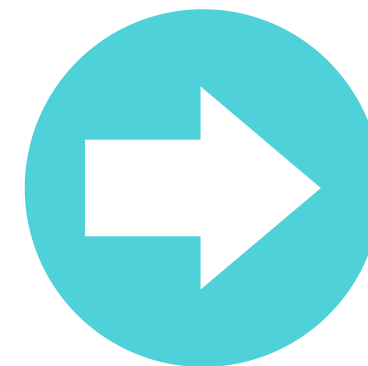
改善点

小学校・公民館・大学生の予定を
合わせるのが難しく、日程調整に
時間がかかっている



何度も電話をかけなくても
スムーズに日程を決められ
る仕組みを整えたい

放課後りんぐのメンバーの中にはあま
り活動に参加できていない人もおり、
メンバーが固定化してきている



全員が積極的に活動に参加
できるような環境づくりを
していきたい

今後したいこと

マニュアルの完備

現在はその都度状況を見ながら対応しているため、今後は誰が見てもわかるマニュアルを整備し、よりスムーズに活動を進められるようにしたい



活動の流れを整理し、チラシを配布するタイミング・注意点、校長先生への電話のかけ方などをまとめる予定

こんな未来になったらいいな (県下に波及される効果)

●こどもが孤立しない

⇒ 家でもない学校でもない、小学生のこどもたちが安心して過ごせる第3の場所が増える

●働く人の生産性向上

⇒ 仕事と生活の両立不安の解消、
安心できる場所がある
⇒ 心身の健康につながる

●「何か地域のために」と 思う人が増える

⇒ 企業では、SDG s 目標達成やC
S R活動が活性化する
⇒ 学生たちの、シビックプライド
(自分の住む街を愛する力)の醸成



この事業を通じて確信し、伝えたいこと

- ✓ 地域のNPO法人としてやってきた活動を、次につなげていく機会を持つこと（ノウハウを活かす）
- ✓ 大学生は単なる「ボランティア」ではなく、こどもの環境（ロールモデル）
- ✓ 「当事者性」と「関係性」をどう育むか

こどもは地域で育てていく、その「地域」はこどもたちに影響を与える環境である

